野営法研究会 Step2 参加にあたって

日本ボーイスカウト茨城県連盟

野営法研究会 Step2 とは

野営法研究会は、スカウト教育の特長である野外における活動（キャンプ）ついて、その推進者である隊長及び副長が、安全で魅力あふれる活動が展開できるよう、十分な知識と技能を獲得するとともに、スカウトの野営技能とスカウト教育法ついて「実行によって学ぶ」ことで更に理解を深め、野外活動の基本から応用までの修得を目的に開設するものです。野営法研究会は、その履修レベルによって Step1 から Step4 までの 4 つが設けられています。

この野営法研究会 Step2 は 、ボーイ隊･ベンチャー隊の隊長の必修研修となっており、スカウトキャンプ十分に理解し、各種技能を根拠に基づいて安全に指導できること、そして更なるスカウト精神を修得するために、また、指導者として研修する機会の少ない基本的なボーイ隊キャンプをスカウトという立場で体験すること等を目的に開設されます。

野営法研究会 Step2 の構成

野営法研究会は、参加者が事前に自由な時間に取り組む「課題研修」と 2 泊 3 日のキャンプ生活による学習の「基本訓練」、それに 1 泊 2 日の移動キャンプを含む事後課題からなっています。この 3 段階の研修を履修すると、キャンプマネージャー（BS・VS 部門）の資格が得られます。

課題研修（＊各個人で取り組む）→ **参加申込**（＊県連事務局に）→ **基本訓練**（＊集合訓練）→ **事後課題提出**（＊各個人で取り組む）→ **修了認定**（＊主任講師）→ **資格付与**（＊県連事務局から）

◆課題研修（予備学習・事前研修）

- 基本訓練での学習・研究を効果的にするために、個人で行う事前研修です。
- 課題は 4 つあり（裏面参照）、団内の先輩指導者、コミッショナーやトレーナーの支援を受けて取り組みます。
- 課題 1,4 は申込時に、課題 2,3 は、当日受付で提出してください。

◆基本訓練

- 野営法研究会 Step2 は、野営法講習会とは異なり受動的に教わるところ（講習会）ではなく、ここでの学習が、隊のキャンプで即活用できるよう、自ら能動的に思考し実行して理解していくところ（研究会）です。
- そのため、スカウトという立場で、実際にキャンプを楽しむことを基本とします。その一方で、成人指導者としの視点で、ボーイ隊の指導者や班長の任務がどう遂行されるかを知り、班員はどう「班」を樹立していけばいいのか‥‥を考え、それを即実行に移して、班を作り上げることを実体験します。
- 同時に、キャンプに必要な知識・技能、方法や行動については、その根拠（「なぜそうなるの？」「どうしてそうするの？」）を探っていくことをこの Step2 の全課程（期間）で研究することを求めていきます。
- もちろん経験豊かなスタッフが指導・支援しますが、参加する皆さんの積極的な取り組みが求められます。

区　分	対　象　者	期　間・方　法	修了したときの資格
野営法研究会 Step1	◎隊長（カブ、ビーバー） ◎副長（ボーイ、ベンチャー） ○他の隊指導者、団指導者	1 泊 2 日の基本訓練 （キャンプ）	・BS・VS 部門のキャンプスタッフ ・CS 部門のキャンプマネージャー
野営法研究会 Step2	Step1 を修了した下記の方 ◎隊長（ボーイ、ベンチャー） ○他の隊指導者、団指導者	2 泊 3 日の基本訓練 （キャンプ）	・BS 部門・VS 部門のキャンプマネージャー ・技能章「野営章」の指導員・考査員
野営法研究会 Step3	Step2 を修了した下記の方 ◎トレーニングチーム員、コミッショナー ○他の隊指導者、団指導者	1 年の期間内で、全ての課目単位を履修。（自己研修、自主合同研修等）	・技能章「野営章管理」の指導員・考査員 ・野営法研究会の講師

※ ◎印の者は、就任 1 年以内の受講が必修、 ○印の者は、受講を推奨。
※「キャンプマネージャー（SCM）」とは、スカウトキャンプの管理運営者としての責務を持つ者。すなわち、通常は「隊長」がその任に就く。
「キャンプスタッフ（SCS）」とは、キャンプマネージャーの下でキャンプを運営する者。すなわち、通常は「副長」「副長補」等。

野営法 Step2 「課題研修」課題

H26～

課題 1

日本連盟発行書籍「指導者のためのスカウトキャンプ」等を読み、「野営基準とは何か」について簡単にまとめてください。

課題 1 では、隊長がスカウトキャンプを行うに当たって、知らなければならないこと、すなわち「野営基準」について考えます。正解は野営法研究会のセッションで示しますが、ここでは、自分なりに考え、それをまとめてください。（A4 用紙縦、横書き 1 枚以内にまとめてください。）

課題 2

一般書籍「カラー図解・ロープとひも結び百科」主婦の友社 (¥1,200) ISBN4-07-242708-X を読んで、次のことを理解してください。(※ この課題は提出する必要はありません)

①安全なロープ結び (構造、材質、用途)
②ロープの正しい使い方と保守
③安全な結びと用途

課題 2 では、実際にキャンプで使用するロープと結びについて、「安全」をキーワードにして事前学習します。この書籍は、基本訓練や隊活動でスカウトを指導する時にも役立ちますので、是非ご購入ください。

課題 3

次の①・②をいずれも実際に行い、その結果を持参してください。

①焚き火をするにあたって、着火に有効で安全に使用できる「焚き付け材 (着火材)」(携行するための容器も含む) を作って持参する。
②消防署の救急救命講習（上級）、赤十字の「救急員養成講習」もしくは県連の指導者救急法（上級）以上のレベルの講習会を修了し、修了証のコピーを持参する。

課題 3 では、実際にアクションをおこしてください。スカウティングは「Learning by Doing」実際に行うことによって学ぶのが基本姿勢です。また、指導者であれば「救急技能」を有しているコトが求められます。消防署で行われる救急救命講習（上級）等は必ず受講し救急技能を身に付けておいてください。

課題 4

課題 1,2,3 をもとに、野営法研究会 Step2 で学習したいことを列記してください。

課題 4 では、課題 1 ～ 3 を踏まえ、キャンプを運営する主体の指導者（隊長）として必要な基本的な知識・技能について整理し、自分自身がスカウトのキャンプを運営する主体の指導者としての役割を果たすために学習しなければならないと思うこと（使命感･義務感）､自分自身で学習あるいは体験したいこと（欲求・ニーズ）を整理することで、基本訓練で学習することを明確にします。（A4 用紙縦、横書き。）

※ この用紙を表紙にして、課題を提出してください。

所属団隊・役務　　第　　団　　隊　役務（　　）

氏　　名　　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿